若者向けライフデザイン教育プログラムの開発と組織的な地域実装

事業報告書

令和8年1月30日

パーソルホールディングス株式会社
国立大学法人山口大学

目次

サマリ 2

1. 本事業における背景と目的 3

2. 実施体制 4

3. スケジュール 5

4. 実施内容 6

5. 効果検証 18

6. 本事業から見えた課題と示唆 25

参考資料

1. アンケート調査票 30

2. アンケート調査結果 38

若者向けライフデザイン教育プログラムの開発と組織的な地域実装（パーソルホールディングス株式会社／国立大学法人山口大学）

- 人生の中で多くの時間を割く「キャリア」を早期から「ライフ」と一体でデザインするワークショップを開発し、将来を見据えた行動変容を促すきっかけとなる学びを、地域の関係機関で連携し組織的に提供するモデルを構築した。またこの度の効果分析では、「ライフ」の教育が「キャリア」の教育効果を更に高める結果が得られ、２つを合わせて実施することの有効性が示された。

実施目的

- キャリアとライフそれぞれの解像度を上げ、接続させるライフデザインサービスを開発・提供し、地域の関係機関が協力して組織的に導入していく仕組みとモデルを作り、将来の横展開を含めた機運の醸成に繋げること。

実施内容・スケジュール

- 実証フィールドである山口県美祢市にあるA高校1年生67名を対象に5日間の基礎＋応用プログラム（令和7年11/19、11/25、12/10、令和8年1/14、1/28）を、B高校2年生70名を対象に1日間の基礎プログラム（令和7年12/9）を実施した。
- これと並行し、プログラムのLP（ランディングページ）作成と、地域における組織的連携を持続的なものとしていくためのラボ発足準備を行い、プレゼンスを高めた。

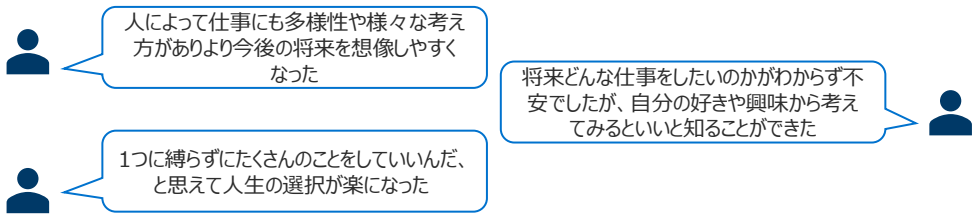
	令和7年			令和8年
	10月	11月	12月	1月
A高校実証		Day1実施 Day2実施	Day3実施	Day4実施 Day5実施
B高校実証			Day1実施	
LP作成		LP設計		LP公開
ラボ発足		事例調査開始	中間報告会	ラボ発足会議

実施体制・実証フィールド

- パーソルホールディングス株式会社：プログラムの開発、実施
- 山口大学：プログラム開発・効果検証支援、実証フィールド構築
- A高校・B高校：プログラム実証校
- 美祢市教育委員会：実証フィールドの調整協力
- 山口県：政策検討、関係機関調整

効果検証結果

- キャリアライフデザインプログラムは、事前・事後調査結果によると、「ライフデザインの明確化」・「起業家的創造性志向」・「管理志向」の向上に効果があることが明らかになった。



ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆

高校生が人生について考える際に軸としたいキャリア領域の志向（「起業家的創造性志向」・「管理志向」）について、ライフ領域の要素を持ち合わせた包括的視点で考える機会を提供することが、将来の生き方・働き方についての解像度を高め、上記の効果につながったと考えられる。

今後は、パーソルHDの「FR（Future Generations Relations）」活動の一部として全国の高校にフィールドを広げ、地域での組織的なキャリアライフ支援を進めていく。

1. 本事業における背景と目的

- 弊社と高校生との関わりの中で、キャリアとライフの接続観点の弱さや将来に対する不安感の高さといった課題が観測された。また予てから提供している小・中学生向けプログラムに続く発展版（高校版）へのニーズがある一方で、プログラム提供の一気通貫性の担保には、教育委員会の管轄の違い等の課題があることが分かっていた。
- これらの課題の解決のため、キャリア・ライフ両方の要素を含むワークショップ形式でのライフデザイン支援を行い、地域における組織的な実装を実現しつつその効果検証を試みた。

背景

- キャリアとライフを二者択一のものと捉えることに起因する、「両方を接続する観点の弱さ」
- キャリア・ライフの解像度の低さに起因する、将来に対する漠然とした「不安」
- 管轄の違いに起因する、中学と高校でのライフデザイン教育における「一気通貫支援の難しさ」

目的

・「はたらく」に軸足を置きつつも、職種や業界だけでなくワークスタイル（テレワーク、二拠点生活、副業/兼業、起業等）を含めたデザインによって、各ライフイベント（特に結婚、出産、子育て―男女を問わず）においてどれだけの選択肢を持つことができるかまでをスコープに入れたプログラム設計を行うことにより、人生の分岐点の手前に立つ高校生にとっての結婚、出産、子育ての選択肢を「はたらく」と合わせて現実的に考える力を育む

・ライフデザインサービスを地域の関係機関が協力して組織的に導入していく仕組みとモデルを作り、将来の横展開を含め、その機運の醸成に繋げる

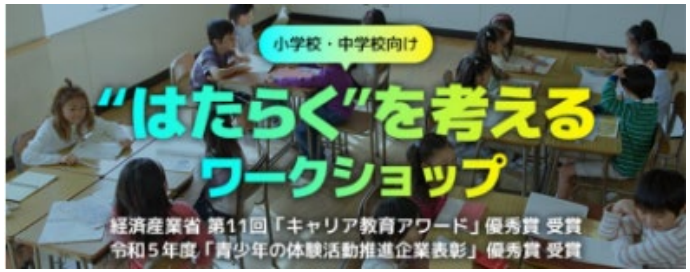
2. 実施体制

- パーソルホールディングス株式会社と国立大学法人山口大学との協力により高校生へのライフデザイン支援プログラム「PERSOLキャリアライフデザインプログラム」を開発し、自治体・教育委員会の協力を得て山口県美祢市の全ての高校に組織的なプログラム提供を行い、効果検証した。また実施メンバーを構成員としたラボを発足させた。

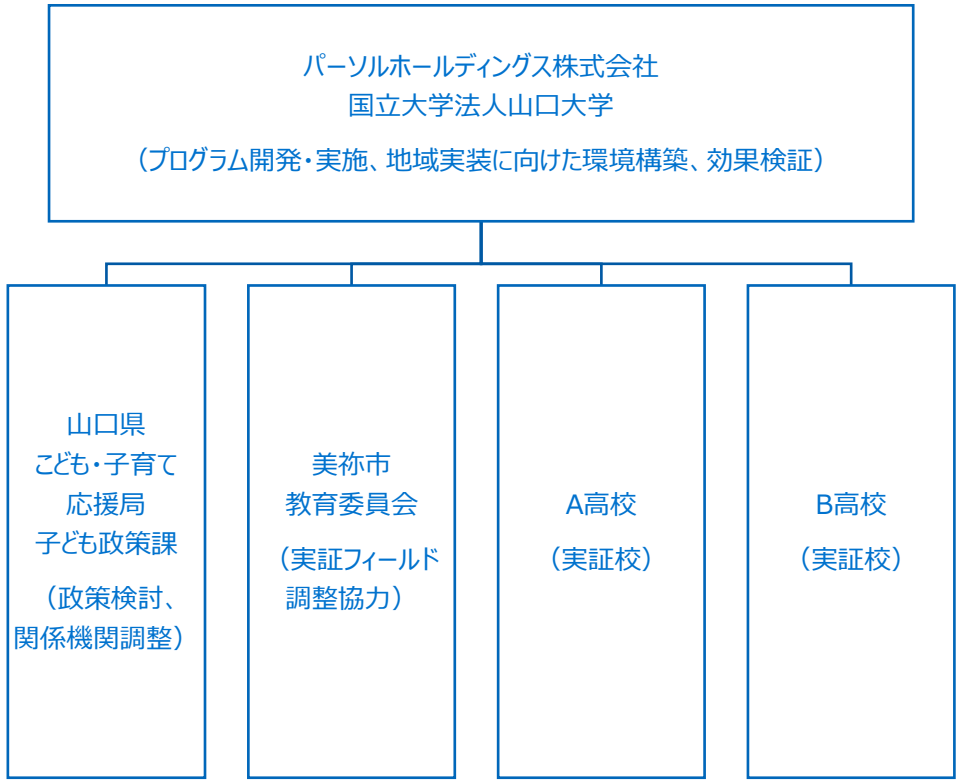
団体の概要

団体名	パーソルホールディングス株式会社
本社所在地	東京都港区南青山1-15-5
代表者役職氏名	代表取締役社長 CEO　和田 孝雄
設立年	平成20年10月
従業員数	78,119人（令和7年3月時点）
事業内容	労働者派遣事業・有料職業紹介事業等の事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
URL	https://www.persol-group.co.jp/

PERSOL

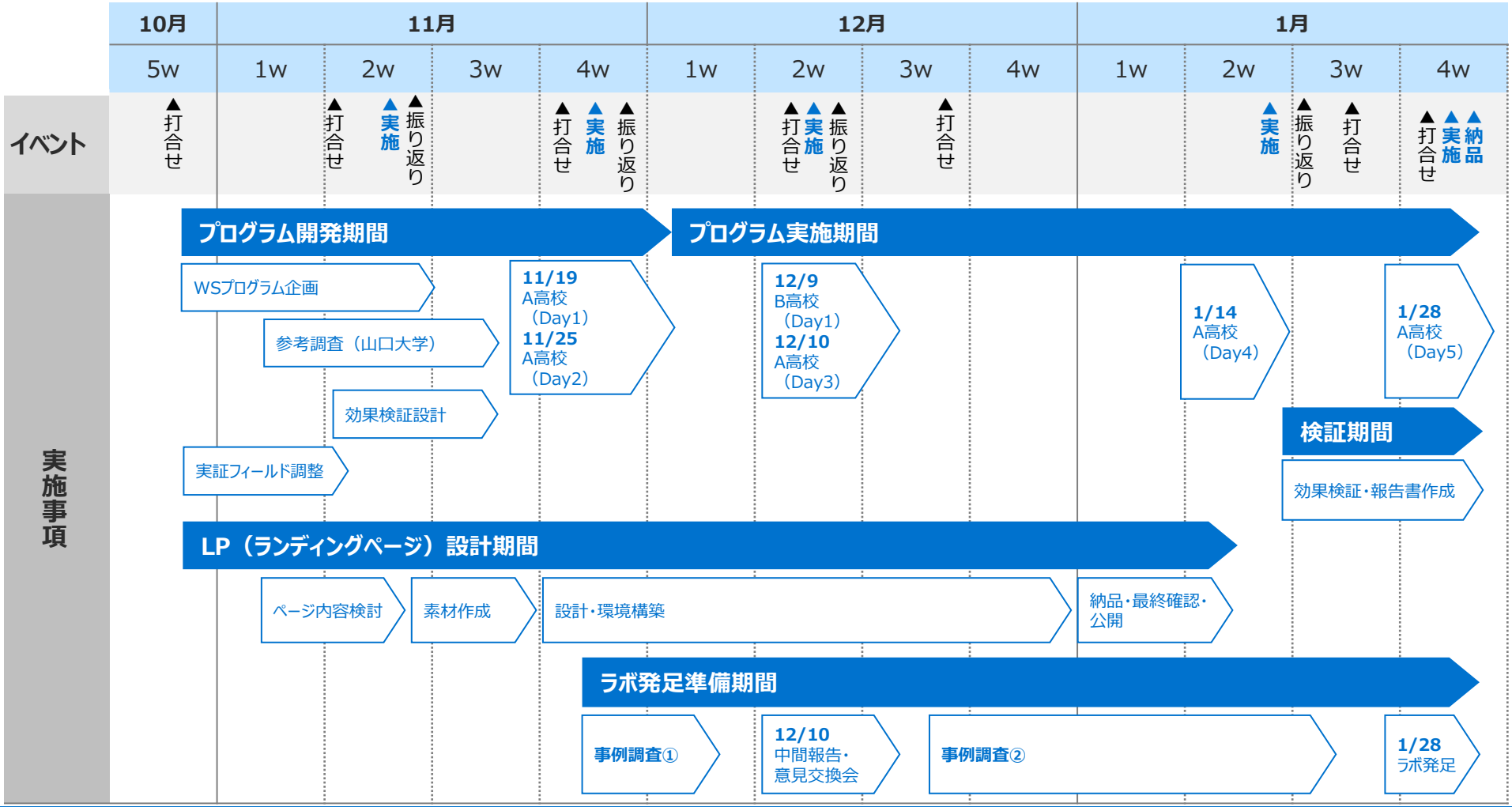


実施体制の詳細



3. スケジュール

- 本事業は、令和7年10月から令和8年1月の4か月間で実施した。



4. 実施内容｜全体の流れ

- プログラム開発・実施、LP（ランディングページ）の設計・公開およびラボの発足準備を同時並行で行った。

実証プログラムの開発・実施・効果検証

開発
- プログラムのコンセプト設計
- プログラムの開発
- 参考調査、プログラム開発における示唆提供（山口大学）

実施
- A高校、B高校でのプログラム実施
- プログラム実施後の振り返り、
- 内容調整
- 事前・事後アンケートの実施

効果検証
- アンケートデータ、インタビューの分析（山口大学）
- 報告書作成
- 普及、拡大に向けた次年度の取り組み検討

LPの設計・公開

ページ内容検討 素材作成
- ページ内容、デザインの設計
- LP内の素材（文言等）作成
- 横展開時のプログラムパッケージの設計
- DL版学校内活用ワークシートの作成

設計 環境構築
- LPの設計構築とデータ納品
- 確認、修正、最終微調整

公開
- LPの公開、プレスリリースの実施（1校より問い合わせがあり、実施が決定）
- ワークシートDL数の検証
- V2.0の設計検討

ラボ発足準備

事例調査開始
- 各地の取組視察
- ヒアリング
- 分析

中間報告会
- 調査報告（中間）
- ライフデザインラボの発足に向けた論点共有

ラボ発足会議
- 調査報告（最終）
- ラボの要件定義
- ラボ名称の投票

4. 実施内容｜PERSOLキャリアライフデザインプログラムの開発・実施

- 高校生がキャリアとライフの解像度を上げ、それらの接続を行い、ライフデザインに前向きに取り組んでいくために、キャリア・ライフの観点でのオリジナルプログラムを開発、実施した。
- A高校には以下の5Dayプログラムを実施した。B高校には1Dayプログラムとして、Day1とDay3の要素を掛け合わせたプログラムを実施した。

	Day1	Day2	Day3	Day4	Day5
実施方法	対面実施	オンライン実施	対面実施	オンライン実施	対面実施
所要時間	100分	50分	100分	50分	100分
テーマ	「キャリア」を考える		「ライフ」を考える		決断を体験する
アジェンダ	・（自己理解スキル）マイナスの感情から自己のありたい姿を知る ・経験への投資タイミング、エンプロイアビリティの概念を知る ・自身の理想とするはたらくを考える ・Day2はキャリア面において社会人へのトーク＆インタビュー		・（自己理解スキル）事象を感情を交えて捉えるフィードバックモデル ・学びと勉強の違いを考える ・4Lモデルを使い、25歳の自分においての重要事項を考える ・ Day4はライフ面において社会人へのトーク＆インタビュー		・モデルを使ってキャリアライフデザインの中で起こる決断を代理体験する
ゴール	はたらく目的の重要性を理解し、若い世代のうちに自分へのキャリア投資をする重要性を理解する		自分自身が感じていることに向き合う力を身につけ、10年後人生の中での優先度やこだわりを考える		若い世代での決断がキャリアライフに影響を与えること、決断の難しさを実感する

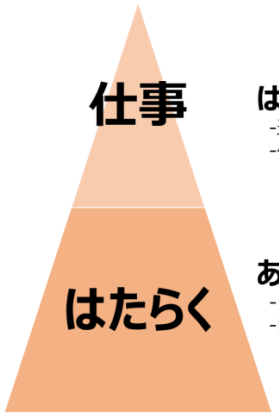
参考｜プログラム内容　Day1_キャリアデザイン編

はたらく目的、若い世代でのキャリア構築方法について知る

→はたらく目的を考え、キャリア投資をする重要性を理解し、実践できる

①はたらく目的を考える

考え方：「はたらく」と「仕事」の違い（what）



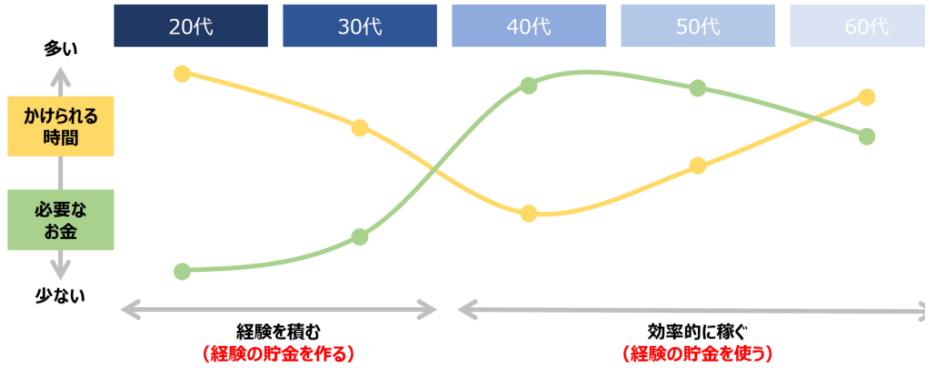
はたらくを実現するための「手段」
- -選択肢は多種多様にある
- -仕事を通じて、自身の「はたらく」が実現していく

ありたい姿と接続された仕事の「目的」
- -自分自身のありたい姿とのつながりができている
- -目線が自分自身＜他者・社会・世界

②経験投資のタイミングを知る

考え方：経験を取るか、お金を取るか（why・what）

20代は「経験の貯金」を重視
その結果が、30代後半以降のキャリアに影響する



参考｜プログラム内容　Day3_ライフデザイン編

仕事、人間関係、余暇、学習などの理想を考え、重要度を考える

→自身の人生において重要度やこだわりを知り、限られた時間を重要度が高い事象に使えるようになる

①学びと勉強の違いを知る

考え方：「学び」の重要性（what）

「勉強」と「学び」の違いを知り、興味からスタートする学びを続ける
社会では勉強しなさいと言ってくれる人はいない

勉強		学び
外発的・受動的	動機づけ	内発的・自発的
義務感・責任感	スタート	課題感・好奇心
大変・時間が流れるのが遅い	感じ方	楽しい・時間が流れるのが早い
目的やメリットで動く		目的がなくても好奇心で動く

②自分にとっての重要事項を知る

配布：A4ワークシート

個人ワーク　ライフデザインワークシート③

項目	具体的には？	具体的には？	割合
仕事 Labor	どんな仕事に就き、どんなやりがいを感じていたいか？ 納得する収入はどれくらいか？		%
愛 Love	家族やパートナー、友人とは どのような関係を築きたいか？		%
余暇 Leisure	遊びや余暇、趣味にどれくらい費やしていたいか？		%
学習 Learning	どのような学びや自己啓発に関心があるか？		%

参考｜プログラム内容　Day2･4_社会人インタビュー編

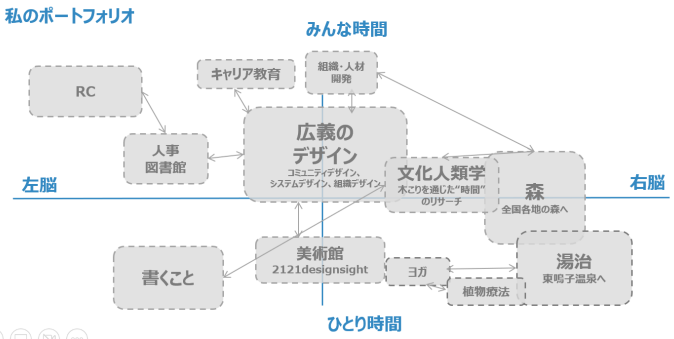
プログラムで学んだことを実践する社会人と出会い、活用の方法を知る

→活用事例を知ることで実践するイメージをつくり、学生の行動変容を後押しする

①社会人の実践と考えを知る

自分自身をどんな人だと思うか

自己理解：森と都市を行き来しながら、人と人の関係性を探求する人。
他者理解：隕石みたいな人。





②疑問･不安を解決する



参考｜プログラム内容　Day5_キャリアライフデザイン実践編

Career Life Journeyで、決断を代理体験する

→決断の難しさを実感し、若い世代での決断がキャリアライフに影響を与えることを知る

①モデルを使い、決断を経験

今回のモデル（20代）



スタータス初期値

体力：25
収入：35
キャリア経験：5
ライフ経験：5

プロフィール

名前 ： 美祢 さら
年齢 ： 23歳（未婚/社会人1年目）
性別 ： 女性
性格 ： 明るい、前向き、行動力がある

将来のキャリアデザイン

仕事もプライベートもどちらも両立させたい思いが強い。どちらかというと収入より、仕事での成長を大切にしたい。30代くらいになれば、できれば家庭を築きたい思いもある。仕事が落ち着いてきたら、少し仕事のペースを落として、余暇を楽しみたい。

キャリアプロフィール

・大学（経済学部）を卒業後、新卒で中堅の旅行会社に入社
・現在は、旅行を考えている個人のお客様へ旅行商品をおすすめする営業を行っています。
・また、最近は修学旅行を考えている学校や社員旅行を考えている会社に旅行商品をおすすめする営業も行っています。
・旅行のプランの設計、交通手段やホテルの手配なども、先輩にサポートをしてもらいながら自分で計画して行います。
・自身が担当する旅行には添乗し、月に3日ほど出張するときもあります。

ライフプロフィール

山口県出身。大学は東京の大学に進学し、現在はそのまま東京で一人暮らし。山口の実家には、父（会社員）、母（専業主婦）が住んでいる。大学時代から交際をしているパートナーがいる。趣味は旅行、雑貨集め。

②ゲーム感覚で取り組みながら、決断の影響を知る

スペシャルイベント⑥：突然のヘッドハンティング

突然あなたに届いたメールは、ヘッドハンティングのメール。旅行会社最大手の企業からのお誘い。
大きな仕事もできそう、年収も上がりそう・・・どう決断する？

1	オファーを受けて転職する	条件：・キャリア経験30以上、ライフ経験値15以上	キャリア経験　＋15/収入　＋20
2	転職活動をする（キャリア重視）	条件：・キャリア経験20以上、ライフ経験値10以上	キャリア経験　＋7/収入　＋10
3	転職活動をする（ライフ重視）	条件：・キャリア経験20以上、ライフ経験値10以上	ライフ経験　＋7/収入　＋10
4	現職に残る（条件が満たせない場合も含む）		キャリア経験　＋3/収入　＋5

4. 実施内容｜「美祢ライフデザインラボ」の立ち上げ

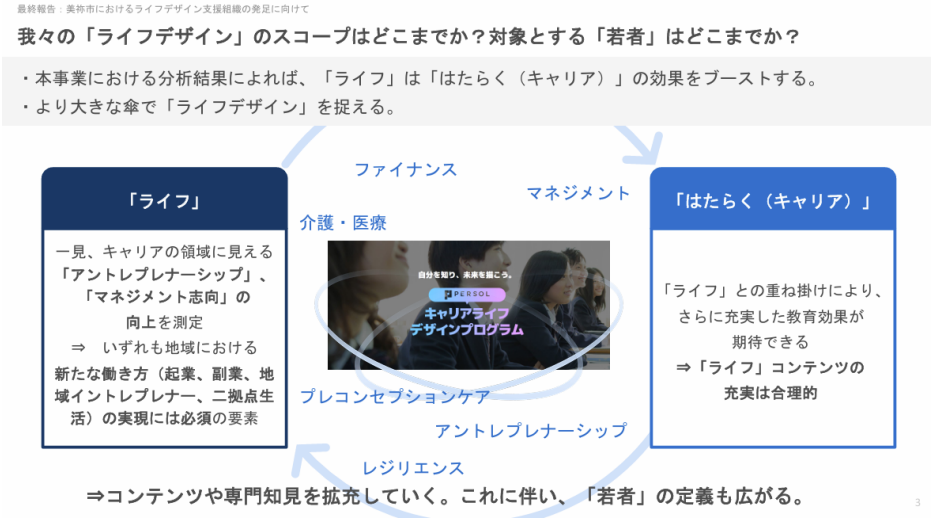
- プロジェクトメンバーや各機関からの情報提供者が一堂に会し、この度の効果検証結果や他地域でのライフデザイン支援事例等を共有しながら、美祢市として、どのようなライフデザイン支援を行っていくかを議論した。
- 支援組織（ラボ）の立ち上げにあたっては、基盤構成員の当事者意識を高め、本取組を持続的なものとしていくため、参加者全員による組織名投票を実施した。

目的：地域におけるライフデザイン支援を組織的・持続的に行っていくためのプラットフォームを立ち上げること

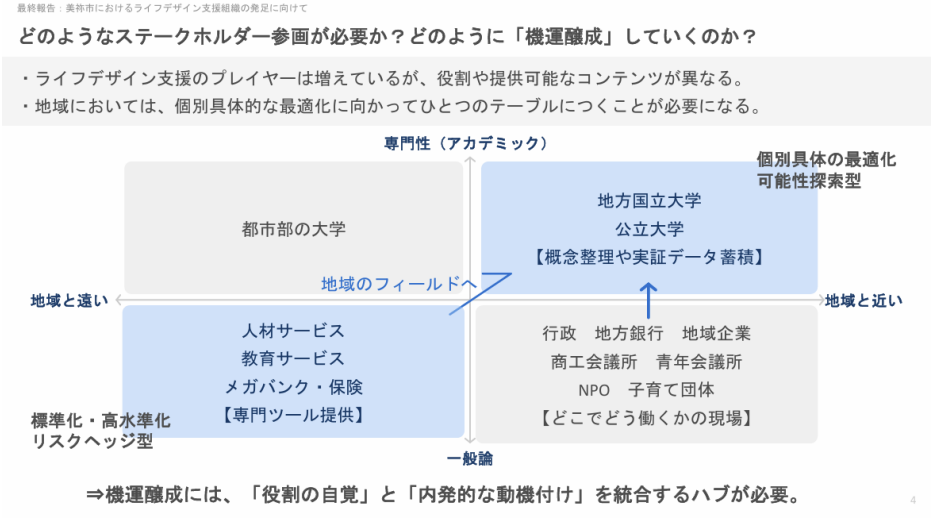
形態：現時点では会議体形式で運営を行う（今後、物理拠点等の展開についても検討する）

発足までの議論：ラボの機能や構成員等の定義、自治体/教育委員会の政策とのすり合わせ等
⇒今後、プレコンセプションケア等を含めたより広い傘でのライフデザイン支援へ

ライフデザインのスコープ、要素間の関係性



地域ならではのライフデザインのあり方の定義



参考｜ラボ立ち上げにあたっての調査結果概要①

目的

・地域の産官学の連携による組織的、持続的なライフデザイン支援の工夫について事例調査
⇒組織的連携や持続性を担保するには、自治体政策や既存のプラットフォームとの連携が有効。

実施主体	地域	特徴	ヒアリング内容
県庁・地域企業	関東	・移住/定住促進との連携 ・ロールモデルの冊子化、県内全域での配布	・県庁がハブとなり基礎自治体の移住/定住促進部署と連携。新たな働き方のロールモデルを抽出し、それをまとめたガイドブックを作成。県内全域配布。 ・若い世代の支援に教育委員会との連携は必須である一方、ライフデザイン支援全体では管轄をはみ出る要素も含まれる。支援の範囲の意思決定が必要。
大学・産学連携PF	関東	・既存の地域連携プラットフォームの活用	・地域の産学官連携プラットフォームにおける人材育成の文脈に位置付け、持続的な取組となるよう工夫。
大学・基礎自治体・地域外企業	北陸	・産学官連携によるリビングラボ運営	・付加価値の高い仕事を地域で実現するための地域の資源の見える化等の取組みを実施。 ・住民やビジターが導線の中で立ち寄ることのできる物理拠点やショーケース機能をいかに用意していくかが課題。

参考｜ラボ立ち上げにあたっての調査結果概要②

目的

・高大連携や一気通貫支援の工夫について事例調査

⇒出前講義や入試制度との連携により、制度的な連続性を確保していくことが重要。

実施主体	地域	特徴	ヒアリング内容
大学・高校・基礎自治体	関東	・大学の出前授業 ・高校生への単位発行	・高大接続のひとつのキーとして、高校への出前授業の受講者に対し、大学の単位（履修証明）を発行。 ・同取組は基礎自治体が予算措置を行いながら実施。地域として、大学入学後に、より発展的なライフデザインの学びにスムーズにアクセスできるようにすることがねらいとされた。
大学・高校	北陸	・大学の出前講義 ・入試制度との連携	・高校生や高校教諭の立場をふまえれば、現実的に入試連携は外せない。特別入試の受験資格に繋がる出前講義、課題、単位発行を実施。入試制度的な意味での多様な入り口を整備。 ・地域でブレイクスルーを起こすことのできる尖った人材を高大接続による一貫支援で育てるためには、共通テスト利用型の入試とは異なる、特定の素養や能力を重点評価する枠組みも必要。

参考｜ラボ立ち上げにあたっての調査結果概要③

目的

・ライフデザイン支援組織の運営面の工夫について調査

⇒内発的な動機付けやそのきっかけとなる情報発信についても持続的に行っていくことが必要。

実施主体	地域	特徴	ヒアリング内容
大学・マルチステークホルダ参加型ラボ	関東	・内発的な動機付けによる機運や持続性確保	・ラボの担う役割のひとつである機運醸成について、きっかけは外発的な動機付けであったとしても、参画する個々人の内発的動機付けの集合体であることが理想。 ・ラボへの参画メンバーに対し、内発的動機付けを誘発するワークショップ等の実施を行うことが望ましい。
地域外企業・基礎自治体	全国各地	・情報発信強化 ・自治体公式SNSアカウント等の運営サポート	・各種SNSアカウントのプラットフォームに合わせた形で、ノウハウ面から効率的な情報発信をサポート。 ・持続性やメンテナンスの不安定な自治体オリジナルのサービスではなく、市場で市民権を得ているサービスをマーケティングの専門家の知見を活用しながら運用。

参考｜ラボ立ち上げにあたっての調査結果概要④

目的

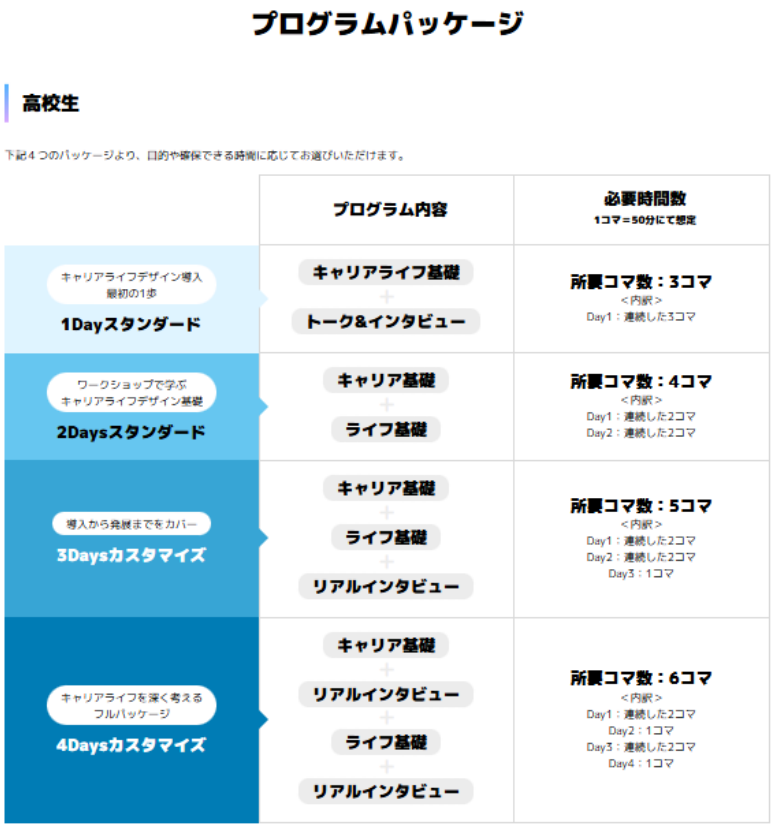
・地域外のプレイヤーの持続的な参画の動機について事例調査
⇒本業（商品・サービス）のプロモーションや顧客確保と絡むことで持続的な取り組みとなる。

実施主体	地域	特徴	ヒアリング内容
地域外企業・県庁・複数の基礎自治体	近畿	・会社の所在地域の持続性確保 ・会社のプロモーション	・会社のセカンドサイト所在地域が持続的・存続的なものでなければならないという課題意識にもとづき取組を実施。県庁トップダウンの取組と、基礎自治体単位の取組との両方に参画。会社の強みである資金の運用を切り口にした講座を多様な対象のニーズに合わせてチューニングして実施。 ・県内での会社の認知度向上も狙いであり、会社のモチベーションも高い。
地域外企業・基礎自治体・地域のライフデザイン支援機構	北陸	・連携地域の持続性確保 ・グループ会社のサービスのプロモーション	・グループ会社がもともと基礎自治体と実施していた関係人口の創出のための制度の普及を狙い、同社が予てから取組んでいるライフプランニング支援と掛け合わせ。これにより、双方の取組にシナジーが生じた。 ・幅広い年齢層のプログラム対象者との接点を持つことや、プログラムに対するフィードバックを自治体や地域の経営者に行うことで、営業と同時に「選ばれる地域」「選ばれる会社」への伴走支援を行う狙いがあった。

4. 実施内容｜LPの設計･公開

- キャリアライフデザインプログラムの専用LPを設計し、令和8年1月7日（水）に一般公開した。1月末日までに都内の高校からプログラムの実施依頼があり、実施が決定した。また、ワークシートのダウンロードも15件程度行われており、学校としてキャリアライフデザインプログラム活用の意思が見られる傾向が確認できた。





5. 効果検証　1)検証手法（1/2）

- アンケート調査並びにインタビュー調査を実施し、効果検証を行った。
- アンケート調査票については、参考資料を参照のこと。

項　目	内　容
調査方法	• アンケート調査／インタビュー調査
対象者	• アンケート調査 　• A高校67人 　• B高校70人 • インタビュー調査 　• A高校4人
回収数・回収率	• アンケート調査 　• A高校 事前調査67人（100.0%）　事後調査60人（89.5%） 　• B高校 事前調査60人（85.7%）　事後調査63人（90.0%）
設問数	• 事前調査の設問項目：46問（基本的質問事項17問・独自質問事項29問） • 事後調査の設問項目：61問（基本的質問事項32問・独自質問事項29問）
実施時期	• A高校 　• アンケート調査　事前調査：令和7年12月5日　事後調査：令和8年1月16日 　• インタビュー調査　令和8年1月15日 • B高校 　• 事前調査：令和7年12月8日　事後調査：令和7年12月10日

5. 効果検証　1)検証手法（2/2）

- 基本的質問項目に加え、独自に「日本語版キャリア・オリエンテーション尺度」（中大路・阿部, 2025）を効果検証項目とし（下記29項目）、事前・事後でアンケート調査を実施・分析した（7件法）。
- 生涯で唯一不変のアンカーをもつとされるキャリア・アンカー（Schein, 1990）とは異なり、本研究で注目するキャリア・オリエンテーションは、複数の志向（orientation）が高まることを許容しているため，複数の志向の保有パターンにより、より詳細に個人の職業志向について検討が可能であると考えられる。保有する志向の重要性や強度を変化させ、変わりゆく変化に対応するとされている（Bravo et al., 2017）。

起業家的創造性志向	私は、新しいもの、サービス、手順を考えることが最も面白いと感じる。
	私は、全く新しいものを作ったり、創造したりすることが好きだ。
	私は、画期的で新しい手順、もの、サービスを考えるのが得意だ。
	私の最大の強みの一つは、新しいものやサービスを考え、創造し、実行することである。
	私は、起業家として成功するために必要なスキルや能力を持っている。
安定志向	自分の勤める会社が雇用を保障してくれることは重要である。
	私にとって、雇用の安定は重要である。
	経済的な安定は私にとって重要である。
	会社は従業員を安定して雇用するよう努力すべきだ。
	私は、長期的に安定しして雇用してくれる組織で働くことを重視する。
社会貢献志向	私にとって、仕事を通じて社会に積極的に貢献することは重要だ。
	私にとって、何らかの形で社会に役立つ仕事をすることは重要である。
	世界を良くしたいという私の願いに合致した仕事をすることは重要である。
	人々の幸福に貢献しているときだけ、自分のキャリアは成功したと感じることができる。

ライフスタイル志向	私にとって、家族や個人の生活を大切にしてくれる組織で働くことが重要だ
	私にとって、仕事と個人的なニーズのバランスをとることは重要だ。
	私にとって理想的な組織とは、従業員が家族と過ごすのに必要な時間を認めてくれる組織だ。
	私のキャリアは、仕事と生活のバランスが取れたものでなければならない。
	私にとって、仕事と生活のバランスをとるために、「家族にやさしい」福利厚生を提供してくれる仕事に就くことは重要だ。
管理志向	私は、いつか組織全体や重要な部門を管理運営してみたい。
	私は、地位の高い管理職になるために必要な献身さを持っている。
	私は、管理責任の大きい職を希望している。
	私には、いずれは高い地位につくためのスキルと能力がある。
	私は、効果的に組織全体をまとめるためのスキルと能力を持っている。
技術技能志向	私は、自分の技術や技能の専門性をより高めることができる職に就きたいと考えている。
	自分の専門分野で新しいことを学ぶ機会のある仕事が好きだ。
	私は、自分の技術や技能の専門性を十分に発揮できる仕事をしたい。
	選択肢があれば、自分の専門的な技術力を使い続けられるような昇進を希望する。
	私は、自分の技術的または専門的なスキルや能力を試されることが好きだ

参考文献
・Bravo,J., Seibert,S.E.,Kraimer,M.L.,Wayne,S.J.,& Liden,R.C.(2017)Measuring career orientations in the era of the boundaryless career, *Journal of Career Assessment*, 25(3), 502-525.
・Schein,E.H.(1990)*Career anchors: Discovering yourreal values*. Sand Diego, CA : Pfeiffer & Co.（金井壽宏(訳)(2003)『キャリア・アンカー―自分のほんとうの価値を発見しよう―』白桃書房）
・中大路誠・阿部晋吾(2025)「日本語版キャリア・オリエンテーション尺度の作成と属性別の特徴の検討」『産業・組織心理学研究』第38巻,第2号,163-175.

5. 効果検証　2)検証結果ーサマリ

- 本事業でA高校の高校生を対象として開発・実施したキャリアライフデザインプログラムは、事前・事後調査結果によると、「ライフデザインの明確化」・「起業家的創造性志向」・「管理志向」の向上に効果があることが明らかになった。

本事業の目的	検証項目	検証結果
将来に対する漠然とした「不安」の解消を目的とした、キャリア・ライフの解像度の向上	自分のライフデザインの明確化（基本的質問項目）	「今回のプログラムを通して、自分のライフデザインが明確になったと感じますか」の平均値をプログラム受講の事前・事後2時点間で比較した際、事後の得点が高いことについて、有意な差があることが確認できた。 **実施前：2.552 ➡ 実施後：3.509（有意差あり）**
キャリアライフデザインプログラム（特にライフに着目した授業）の受講によって、キャリアの志向性の多様な側面を取り扱う「日本語版キャリア・オリエンテーション尺度」のうち、受講対象者である高校生の志向を複数かつ同時に向上させること	起業家的創造性志向（独自質問項目）	「起業家的創造性志向」の平均値をプログラム受講の事前・事後2時点間で比較した際、事後の得点が高いことについて、有意な差があることが確認できた。 **実施前：3.687 ➡ 実施後：4.323（有意差あり）**
	管理志向（独自質問項目）	「管理志向」の平均値をプログラム受講の事前・事後2時点間で比較した際、事後の得点が高いことについて、有意な差があることが確認できた。 **実施前：3.113 ➡ 実施後：3.747（有意差あり）**

5. 効果検証　3)検証結果ーA高校：詳細（1/3）

【分析結果】

- 本事業で開発したキャリアライフデザインプログラム（特にライフに着目した内容）の受講によって、自分のライフデザインの明確化、並びにキャリアの志向性の多様な側面を取り扱う「日本語版キャリア・オリエンテーション尺度」のうち、受講対象者である高校生のキャリア・オリエンテーションを複数かつ同時に向上させることに効果があるかを検証した。

- プログラム受講の事前・事後の2時点の平均値で対応のないt検定を実施した結果、受講対象者である高校生の**「自分のライフデザインの明確化」の平均値の向上**、キャリア・オリエンテーションのうち**「起業家的創造性志向」・「管理志向」の平均値の向上について、有意な差があること**が確認できた。

	事前調査			事後調査			*t*値	*p*値	効果量d
	平均値	中央値	標準偏差	平均値	中央値	標準偏差			
起業家的創造性志向得点	3.687	3.800	0.950	4.323	4.400	1.053	3.54	0.00	0.63
安定志向得点	5.454	5.400	0.978	5.467	5.600	1.056	0.07	0.94	0.01
社会貢献志向得点	4.851	5.000	1.132	5.039	5.250	1.235	0.89	0.38	0.16
ライススタイル得点	5.669	5.600	0.755	5.558	5.800	1.164	0.64	0.53	0.11
管理志向得点	3.113	3.000	0.974	3.747	3.800	1.378	2.99	0.03	0.54
技術技能志向得点	4.815	5.000	1.005	4.895	4.800	1.064	0.43	0.67	0.08

5. 効果検証　3)検証結果ーA高校：詳細（2/3）

【考察】

ロキャリアライフデザインプログラムによって「起業家的創造性志向」「管理志向」が高まる理由

- 当初予測では、ライフ領域の志向と見なせる「ライフスタイル志向」の向上がキャリア・オリエンテーションを向上させるのではないかという仮説を立てていたが、実際の結果はそれとは異なるものとなった。その理由として、インタビュー調査で確認できた、**「高校生が人生について考える際に軸としたい要素」**が参考になると考えられる。
- インタビュー調査において、プログラム受講前の高校生は、自分自身の人生について考えるとき、**主に進学・就職をめぐるキャリアの形成に軸足を置き、「仕事(Labor)」に焦点を当てて考える**傾向にあった。また、「愛(Love)」「余暇(Leisure)」「学習(Learning)」といったライフ領域をカバーする要素について考える機会は、多く設定されていない状態にあることがわかった。
- そのため、高校生が人生について考える際に軸としたいキャリア領域の志向（「起業家的創造性志向」・「管理志向」）について、ライフ領域の要素を持ち合わせた包括的視点で考える機会を提供することが、**将来の生き方・働き方についての解像度を高め、不安を拭う作用として結実し、将来のキャリアをより一層自信に満ちたものとし、効力感を高めるものとしてあらわれた**と考えられる。

起業家的創造性志向	管理志向
質問項目 • 私は、新しいもの、サービス、手順を考えることが最も面白いと感じる • 私は、全く新しいものを作ったり、創造したりすることが好きだ • 私は、画期的で新しい手順、もの、サービスを考えるのが得意だ • 私の最大の強みの一つは、新しいものやサービスを考え、創造し、実行することである • 私は、起業家として成功するために必要なスキルや能力を持っている	質問項目 • 私は、いつか組織全体や重要な部門を管理運営してみたい • 私は、地位の高い管理職になるために必要な献身さを持っている • 私は、管理責任の大きい職を希望している • 私には、いずれは高い地位につくためのスキルと能力がある • 私は、効果的に組織全体をまとめるためのスキルと能力を持っている

5. 効果検証　3)検証結果ーA高校：詳細（3/3）

【考察】

ロインタビュー結果からの示唆

- プログラム受講後にインタビューで回答したいずれの高校生も、「これまで『職業』からだけ人生を考えていたけど、**自分の『生活』『好き』『感情』『個人的な興味』に基づいて仕事について考える**こともできるんだと思えて、**人生から仕事を考えるイメージがとてもはっきりした」という論理を持つ**ようになり、定量的検討の結果を支持するといえる。

- また、20代、30代、40代といった年齢段階による人生の見通しを描く際には、**「家族を持つとしたら」という前提も持ち合わせており、ライフ領域の視角が身についている**といえる。

- なお、本事業で開発したライフデザインプログラムを通じて、高校生はライフ領域の要素について学習するものの、**ライフデザインプログラムの受講後も、高校生は進学・就職を軸としたキャリア形成に重点を置いている**ことには留意が必要である。

5. 効果検証　3)検証結果ーB高校：詳細

【分析結果】

- 本事業で開発したキャリアライフデザインプログラム（特にライフに着目した内容）の受講によって、自分のライフデザインの明確化、並びにキャリアの志向性の多様な側面を取り扱う「日本語版キャリア・オリエンテーション尺度」のうち、受講対象者である高校生のキャリア・オリエンテーションを複数かつ同時に向上させることに効果があるかを検証した。

- プログラム受講の事前・事後の2時点の平均値で対応のないt検定を実施した結果、キャリア・オリエンテーションについては**いずれの志向性に関しても有意な差は確認できなかった**。一方で、**「自分のライフデザインの明確化」の平均値の向上について、有意な差があること（2.833→3.443）**が確認できた。
- つまり、B高校の1Dayプログラムは、ライフ領域の学習機会としては有用である一方で、高校生の志向に変化をもたらすには十分な内容ではなかったといえる。

【考察】

- B高校では「トーク＆インタビュー（ライフ編）」のインタビューワークを実施しておらず、高校生が自分の中で生じたキャリア／ライフをめぐる問いをアウトプットし、ロールモデルとなる大人からフィードバックが与えられる機会が設定されていない点で、**A高校で実施したプログラムと質的相違がある**。
- よって、高校生の志向に変化をもたらすには、ワークショップによるインプット・アウトプットに加え、**実際にライフデザインに取り組む大人の協力を得たインタビューワークを通して、オーセンティックなアウトプットとフィードバックの機会への接続が推奨されるべき**と考えられる。

6. 本事業から見えた課題と示唆 1)ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆 ア)課題

- 高校生にはキャリアライフにおけるロールモデル等の不足により、現実味や納得感を得られる機会が不足していることが、ライフデザイン支援の普及・拡大の課題と考えられる。また、学校や保護者のキャリアライフデザインの知識不足を補う役割を担う企業（ライフデザインサービスを提供する支援者）には、学校現場との関係性構築や地域との近接性の面に課題がある。

地方 × 高校

	課題と背景要因
1 当事者（高校生）	• 自己理解の不足 • 選択肢の多様化の弊害でもある漠然とした「不安」「不確かさ」「自信の無さ」 • キャリアライフにおける情報格差とロールモデル不足 • 学びとキャリアの接続の弱さ
2 周辺・周囲（教員・学校、保護者）	• キャリア、ライフにおける自身の体験の押しつけ • 現代社会に合ったキャリアライフデザインのあり方の知識不足 • 外部サービス利用に際しての財源やカリキュラム面の問題
3 支援者（自治体、国）	• 学校における現場実態と乖離したライフデザイン支援施策（金融教育など効果が分かりやすく、生徒が関心を寄せるものへの偏重） • 中長期視点での取り組みの設計、支援の不足

6. 本事業から見えた課題と示唆 1)ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆 イ)あるべき姿

- 高校生がうまく周囲の大人から情報を引き出すスキルを持ち、またそうした場が地域の中で持続的に作られることで、キャリアライフデザインの解像度を高められる状態にあることが望ましい姿である。そのためには、高校や産学官の地域のプレイヤーが連携し、組織的にその機会を保障していく体制が必要となる。

地方 × 高校

	あるべき姿
1 当事者（高校生）	• 自身の人生に興味、関心を持ち、自分ごととして考える力を持つことができている • 周囲の大人を頼り、情報を引き出すためのスキルを持っている • 自身のキャリアライフデザインの解像度が高く、漠然とした不安から解放されている
2 周辺・周囲（教員・学校、保護者）	• 将来世代、または子のために、最新の動向を学び、社会にあわせたキャリアライフデザイン知識の習得ができている • 教員、保護者自身がキャリアライフデザインの設計と行動ができている • 家庭や学校で不足する情報を補うサービスやその提供者を理解している
3 支援者（自治体、国）	• 費用含めた学校教育現場への選択権と権限移譲ができている • 認定プログラム等のお墨付きのプログラムができている

6. 本事業から見えた課題と示唆 1)ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆 ウ)実現に向けた方向性

- 実現に向けた方向性としては、進学や進路選択の各段階をまたいで一気通貫で支援していくための、成長段階に合わせたプログラム開発と、それを持続的に若い世代に提供していくことのできる組織的な連携プラットフォームを拡充していくことが必要である。また機運醸成に際してはそのモデルを水平展開していくことが有用である。

地方 × 高校

	実現に向けた方向性
1 当事者（高校生）	• 日常でのキャリアライフデザインを考える機会の習慣化（授業・学校生活） • 多様な大人に接点をとり、自らの枠を広げる実践的活動（自身でアクション）
2 周辺・周囲（教員・学校、保護者）	• 地域や自身の枠にはまらないライフデザインに関する知識習得 • 外部機関（企業）のプログラム活用と予算の確保 • 大人自身のライフデザインを考える機会増加
3 支援者（自治体、国）	• ライフデザイン支援に取り組む企業・活動に対する複数年での継続支援（国） • 県、市教委の垣根を超えた一貫性のあるキャリアライフ支援への理解と協力（自治体） • 企業との連携・支援、取り組み校への支援充実、予算の確保 • 教職員や保護者を対象としたキャリアライフデザイン研修等の啓発機会の充実

6. まとめ　2)終わりに

- 今後の展開としては、一気通貫型ライフデザインサービスの社会実装に向けて、支援対象の更なる拡張と、ライフデザインラボをハブとした地域における支援体制の拡充も計画している。

小・中学生向けサービスの確立、効果検証済み　→　高校・大学向け、地域での組織的導入　→　地域における組織的ライフデザイン支援の先進モデルへ

~2024
Step 01
プログラムの効果/地域差検証
ローカライズ開発
- 教育効果の見える化
- 地域差検証
- ローカル版プログラムの開発
- 自治体制度の活用＝横展開性の確保

2025
Step 02
地域での
組織的ライフデザイン支援の実現
- 特定段階のすべての学校での導入
- 所掌教育委員会の垣根を超えた取り組み
- 就職手前層への重点アプローチ
- 公立・私立比較

2026～
Step 03
社会人までの一気通貫
- 働き方改革、人手不足への好影響
- 結婚、出産、子育てへの好影響
- 企業価値向上への好影響
- 地域内のすべての学校での導入
- 人生のどこからでも、どんな状況からでも始められるライフデザイン支援
- 他地域への横展開
- パネル調査/コホート研究
- データプラットフォームの構築

長期的ビジョン
一気通貫型ライフデザインサービスの社会実装
- 小/中/高/大/社会人の一気通貫支援モデルの構築と実施
- 地域における組織的なプログラム導入
- 継続実施によるパネル調査やデータプラットフォームの構築

参考｜小中高一環でのプログラムの実施見通し

- 今後、本実証を通じて関係性が構築できた美祢市教育委員会と連携し、ライフデザインプログラムを小学校・中学校・高等学校で組織的に取り組んでいくことを予定している。
- この取り組みは、管轄の違いに起因する、ライフデザイン教育における「一貫性の低さ」の解決につながるものと考えられる。

・A高校、B高校
・市立C中学校　(※A高等学校の在籍生徒のうちの半数以上がC中学校の卒業生)
・市立D小学校、E小学校、F小学校、G小学校　(※4つの小学校がC中学校区の小学校)

参考資料

1. アンケート調査票
2. アンケート調査結果

事前調査(1/3)

あなたの年齢を教えてください *

回答を入力

あなたのお住まいの状況として当てはまるものをお選びください *

- 都市部
- 都市部と郊外の中間
- 郊外（＝都市部に隣接した地域）
- 郊外と農村・漁村部の中間
- 農村・漁村部

あなたの性別を教えてください *

- 男性
- 女性
- その他
- 回答しない

あなたの所属する学科を教えてください *

- 普通科
- 機械科
- 電気科

卒業後の進路について、今の時点でどのように考えていますか *

- 専門学校や職業系の学校に進学したい
- 大学へ進学したい
- 就職を希望している
- まだわからない・考え中
- 回答しない

次の質問について、 今のあなた自身の考えにどれくらいあてはまるかについて選択肢の中から1つ選んでください。あまり深く考えないで、思ったままに答えてください。

「ライフデザイン」という言葉を知っていますか *

- はい
- いいえ

今回のプログラムが「ライフデザイン」に初めて取り組む機会ですか *

- はい
- いいえ

自分のライフデザインは明確だと感じますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

自分の将来に対する不安を感じていますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

自分の将来には、いろいろな選択肢や可能性があると思いますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

「自分の理想とする将来」に向けて行動したい気持ちがありますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

日々の生活の中で満足感や幸福感を感じていますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

新しい知識や情報を積極的に学びたいと思うことが多いですか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

自分は学ぶ理由が明確だと思いますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

ライフデザインは自分にとって意味があると思いますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

ライフデザインを友人や家族にも勧めたいと思いますか *

- 全くそう思わない
- あまりそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- とてもそう思う

ライフデザインプログラムを通して得たい気づき等あればおしえてください。（自由記述）

回答を入力

次の主張について、今のあなた自身の考えにどれくらいあてはまるかについて選択肢の中から1つ選んでください。あまり深く考えないで、思ったままに答えてください。

私は、新しいもの、サービス、手順を考えることが最も面白いと感じる *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、全く新しいものを作ったり、創造したりすることが好きだ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、画期的で新しい手順、もの、サービスを考えるのが得意だ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私の最大の強みの一つは、新しいものやサービスを考え、創造し、実行すること * である

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

事前調査(2/3)

私は、起業家として成功するために必要なスキルや能力を持っている *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

自分の勤める会社が雇用を保障してくれることは重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、雇用の安定は重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

経済的な安定は私にとって重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

会社は従業員を安定して雇用するよう努力すべきだ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、長期的に安定して雇用してくれる組織で働くことを重視する *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、仕事を通じて社会に積極的に貢献することは重要だ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、何らかの形で社会に役立つ仕事をすることは重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

世界を良くしたいという私の願いに合致した仕事をすることは重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

人々の幸福に貢献しているときだけ、自分のキャリアは成功したと感じることが * できる

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

次の主張について、今のあなた自身の考えにどれくらいあてはまるかについて選択肢の中から1つ選んでください。あまり深く考えないで、思ったままに答えてください。

私にとって、家族や個人の生活を大切にしてくれる組織で働くことが重要だ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、仕事と個人的なニーズのバランスをとることは重要だ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって理想的な組織とは、従業員が家族と過ごすのに必要な時間を認めてく * れる組織だ

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私のキャリアは、仕事と生活のバランスが取れたものでなければならない *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

事前調査(3/3)

私にとって、仕事と生活のバランスをとるために、「家族にやさしい」福利厚生を提供してくれる仕事に就くことは重要だ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私には、いずれは高い地位につくためのスキルと能力がある *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、自分の技術や技能の専門性を十分に発揮できる仕事をしたい *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、いつか組織全体や重要な部門を管理運営してみたい *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、効果的に組織全体をまとめるためのスキルと能力を持っている *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

選択肢があれば、自分の専門的な技術力を使い続けられるような昇進を希望する *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、地位の高い管理職になるために必要な献身さを持っている *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、自分の技術や技能の専門性をより高めることができる職に就きたいと考えている *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、自分の技術的または専門的なスキルや能力を試されることが好きだ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、管理責任の大きい職を希望している *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

自分の専門分野で新しいことを学ぶ機会のある仕事が好きだ *

- 全くあてはまらない
- あてはらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

事後調査(1/4)

あなたの年齢を教えてください *

回答を入力

あなたのお住まいの状況として当てはまるものをお選びください *

- ○ 都市部
- ○ 都市部と郊外の中間
- ○ 郊外（＝都市部に隣接した地域）
- ○ 郊外と農村・漁村部の中間
- ○ 農村・漁村部

あなたの性別を教えてください *

- ○ 男性
- ○ 女性
- ○ その他
- ○ 回答しない

あなたの所属する学科を教えてください *

- ○ 普通科
- ○ 機械科
- ○ 電気科

卒業後の進路について、今の時点でどのように考えていますか *

- ○ 専門学校や職業系の学校に進学したい
- ○ 大学へ進学したい
- ○ 就職を希望している
- ○ まだわからない・考え中
- ○ 回答しない

参加したプログラムで得られたライフデザインの情報についてすべてお選びください（ライフ） *

- ☐ ライフイベント
- ☐ ライフスタイル・暮らし方
- ☐ 私生活の充実
- ☐ ウェルビーイングの向上
- ☐ 生き方の多様性
- ☐ こころとからだの健康
- ☐ 出会い・結婚
- ☐ 妊活・妊娠・出産
- ☐ 育児
- ☐ 家事
- ☐ 介護
- ☐ その他:

参加したプログラムで得られたライフデザインの情報についてすべてお選びください（キャリア） *

- ☐ ライフとキャリアの両立
- ☐ 働き方の多様性
- ☐ リスキリング・学びなおし
- ☐ 社内でのキャリアプラン・キャリアパス
- ☐ 社外でのキャリアプラン・キャリアパス
- ☐ その他:

参加したプログラムで得られたライフデザインの情報についてすべてお選びください（ファイナンス） *

- ☐ ファイナンシャルプラン
- ☐ 資産形成・資産運用
- ☐ 税制・制度
- ☐ 公的な経済支援
- ☐ その他:

参加したプログラムで得られたライフデザインの情報についてすべてお選びください（スキル） *

- ☐ 自己認知、自己理解、自己肯定、自己決定力、自己効力感
- ☐ レジリエンス、課題解決力、情報収集能力、向上心・探求心、ホープ（未来志向で今を考える力）
- ☐ アンガーマネジメント、モチベーションマネジメント、継続力・持続力
- ☐ 協調性・関係構築力、他者受容性、コミュニケーションスキル
- ☐ デジタルツール活用スキル、プロジェクト管理スキル
- ☐ 自律した自身のライフに対する総合的なプランニング・デザインスキル
- ☐ その他:

参加したプログラムについて満足度はいかがでしたか *

- ○ 全く満足していない
- ○ あまり満足していない
- ○ どちらともいえない
- ○ やや満足
- ○ 非常に満足

参加したプログラムの期間（回数やプログラム全体の長さ）はどう感じましたか *

- ○ ちょうどよい
- ○ やや長い
- ○ 長い
- ○ やや短い
- ○ 短い

あなたが理想的だと思うプログラムの期間を教えてください。（プログラム開始日から終了日までの期間を選択してください。） *

- ○ 単発（1日以内）
- ○ 2日～6日
- ○ 1週間～2週間
- ○ 2週間～1か月
- ○ 1か月～3か月
- ○ 3か月以上

あなたが理想的だと思うライフデザインのプログラムの回数を教えてください。（プログラム開始日から終了日までの回数を選択してください。） *

- ○ 1回
- ○ 2回
- ○ 3回
- ○ 4回
- ○ 5回
- ○ 6回
- ○ 7回
- ○ 8回
- ○ 9回
- ○ 10回
- ○ 11回以上

あなたが理想的だと思うプログラムの提供形態を教えてください *

- ☐ ワークショップ
- ☐ セミナー・講演
- ☐ コーチング
- ☐ ヒアリング・カウンセリング
- ☐ eラーニング
- ☐ 自己学習ツール（eラーニング除く）
- ☐ 模擬体験・シミュレーション
- ☐ その他:

あなたが理想的だと思う、プログラムで得たいライフデザインの情報についてすべてお選びください（ライフ） *

- ☐ ライフイベント
- ☐ ライフスタイル・暮らし方
- ☐ 私生活の充実
- ☐ ウェルビーイングの向上
- ☐ 生き方の多様性
- ☐ こころとからだの健康
- ☐ 出会い・結婚
- ☐ 妊活・妊娠・出産
- ☐ 育児
- ☐ 家事
- ☐ 介護
- ☐ その他:

あなたが理想的だと思う、プログラムで得たいライフデザインの情報についてすべてお選びください（キャリア） *

- ☐ ライフとキャリアの両立
- ☐ 働き方の多様性
- ☐ リスキリング・学びなおし
- ☐ 社内でのキャリアプラン・キャリアパス
- ☐ 社外でのキャリアプラン・キャリアパス
- ☐ その他:

あなたが理想的だと思う、プログラムで得たいライフデザインの情報についてすべてお選びください（ファイナンス） *

- ☐ ファイナンシャルプラン
- ☐ 資産形成・資産運用
- ☐ 税制・制度
- ☐ 公的な経済支援
- ☐ その他:

事後調査(2/4)

あなたが理想的だと思う、プログラムで得たいライフデザインの情報についてすべてお選びください（スキル） *

- [ ] 自己認知、自己理解、自己肯定、自己決定力、自己効力感
- [ ] レジリエンス、課題解決力、情報収集能力、向上心・探求心、ホープ（未来志向で今を考える力）
- [ ] アンガーマネジメント、モチベーションマネジメント、継続力・持続力
- [ ] 協調性・関係構築力、他者受容性、コミュニケーションスキル
- [ ] デジタルツール活用スキル、プロジェクト管理スキル
- [ ] 自律した自身のライフに対する総合的なプランニング・デザインスキル
- [ ] その他:

プログラムに関して、良かった点や改善してほしい点、今後の要望などがあれば自由にご記入ください *

回答を入力

次の質問について、 今のあなた自身の考えにどれくらいあてはまるかについて選択肢の中から1つ選んでください。あまり深く考えないで、思ったままに答えてください。

今回のプログラムを通して「ライフデザイン」への理解は深まりましたか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今回のプログラムを通して、自分のライフデザインが明確になったと感じますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今回のプログラムを通して、将来に対する不安が軽減したと感じますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今回のプログラムを通して、自分の将来の選択肢が増えたと感じますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今回のプログラムを通して、「自分の理想とする将来」の実現に向けて行動したいと思いましたか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今回のプログラムを通して、日々の生活の中での満足感や幸福感が向上したと感じますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今回のプログラムを通して、新しい知識や情報を積極的に学びたいという意欲が高まったと感じますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今回のプログラムを通して、学ぶ理由がより明確になったと感じますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

ライフデザインは自分にとって意味があると感じますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

ライフデザインを友人や家族にも勧めたいと思いますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今後もライフデザインに関するプログラムが企業や学校・団体等から提供された場合に取り組みたいと思いますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

今後もライフデザインに関するプログラムに個人的に取り組みたいと思いますか *

- ○ 全くそう思わない
- ○ あまりそう思わない
- ○ どちらともいえない
- ○ そう思う
- ○ とてもそう思う

ライフデザインプログラムを通して得た気づき等あればおしえてください。（自由記述） *

回答を入力

事後調査(3/4)

次の主張について、今のあなた自身の考えにどれくらいあてはまるかについて選択肢の中から1つ選んでください。あまり深く考えないで、思ったままに答えてください。

私は、新しいもの、サービス、手順を考えることが最も面白いと感じる *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、全く新しいものを作ったり、創造したりすることが好きだ *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、画期的で新しい手順、もの、サービスを考えるのが得意だ *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私の最大の強みの一つは、新しいものやサービスを考え、創造し、実行すること * である

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、起業家として成功するために必要なスキルや能力を持っている *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

自分の勤める会社が雇用を保障してくれることは重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、雇用の安定は重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

経済的な安定は私にとって重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

会社は従業員を安定して雇用するよう努力すべきだ *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、長期的に安定して雇用してくれる組織で働くことを重視する *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、仕事を通じて社会に積極的に貢献することは重要だ *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、何らかの形で社会に役立つ仕事をすることは重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

世界を良くしたいという私の願いに合致した仕事をすることは重要である *

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

人々の幸福に貢献しているときだけ、自分のキャリアは成功したと感じることが * できる

- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

事後調査(4/4)

次の主張について、今のあなた自身の考えにどれくらいあてはまるかについて選択肢の中から1つ選んでください。あまり深く考えないで、思ったままに答えてください。

私にとって、家族や個人の生活を大切にしてくれる組織で働くことが重要だ *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、仕事と個人的なニーズのバランスをとることは重要だ *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって理想的な組織とは、従業員が家族と過ごすのに必要な時間を認めてくれる組織だ *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私のキャリアは、仕事と生活のバランスが取れたものでなければならない *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私にとって、仕事と生活のバランスをとるために、「家族にやさしい」福利厚生を提供してくれる仕事に就くことは重要だ *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、いつか組織全体や重要な部門を管理運営してみたい *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、地位の高い管理職になるために必要な献身さを持っている *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、管理責任の大きい職を希望している *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私には、いずれは高い地位につくためのスキルと能力がある *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、効果的に組織全体をまとめるためのスキルと能力を持っている *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、自分の技術や技能の専門性をより高めることができる職に就きたいと考えている *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

自分の専門分野で新しいことを学ぶ機会のある仕事が好きだ *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、自分の技術や技能の専門性を十分に発揮できる仕事をしたい *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

選択肢があれば、自分の専門的な技術力を使い続けられるような昇進を希望する *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

私は、自分の技術的または専門的なスキルや能力を試されることが好きだ *
- 全くあてはまらない
- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 非常にあてはまる

参考資料

1. アンケート調査票
2. アンケート調査結果

アンケート調査結果

A高校事前調査（1/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（2/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（3/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（4/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（5/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（6/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（7/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（8/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（9/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（10/11）

アンケート調査結果

A高校事前調査（11/11）

アンケート調査結果

A高校事後調査（1/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（2/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（3/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（4/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（5/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（6/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（7/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（8/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（9/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（10/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（11/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（12/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（13/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（14/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（15/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（16/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（17/18）

アンケート調査結果

A高校事後調査（18/18）

■プログラムに関して、良かった点や改善してほしい点、今後の要望などがあれば自由にご記入ください

- 働き方には多様性があり、自分に合った働き方を知ることができてよかったです。
- 人生設計の仕方や年齢によってかかる時間やコストについて知ることができたことがよかったです。
- キャリアやライフのことについて知識を増やすことができていい機会だなと思いました。
- どういう経緯で今に至っているのかなどたくさんの大人の人生が知れてためになりました。
- 自分の将来を深く見つめなおすとても良い経験となりました。今回学んだ人生の転機、仕事での転機は割とすぐきそうだなと感じました。今後の人生を迎えるにあたって多種多様で主体的に物事を見る力を身に着ける必要があるということを改めて気付くことができました。
- 仕事だけでなく、私生活についての話も聞くことができて将来のことをより具体的に考えられたので良かったです。

■ライフデザインプログラムを通して得た気づき等あればおしえてください。

- ライフデザインをすることによって将来の目的や道筋が明確になるのでとても良いと思いました。
- 自分に合った働き方で、私生活との両立ができること。
- 人生設計を考える中でも、仕事の種類や日々の生活と両立するためにはどうすればいいかを細かく考えることができました。
- 何歳でも意欲があれば学びなおせるんだと思った。
- 仕事に対する考え方や生きる上での優先順位や自分のやりたいに対しての解像度が上がったように感じます。

アンケート調査結果

B高校事前調査（1/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（2/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（3/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（4/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（5/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（6/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（7/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（8/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（9/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（10/11）

アンケート調査結果

B高校事前調査（11/11）

アンケート調査結果

B高校事後調査（1/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（2/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（3/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（4/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（5/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（6/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（7/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（8/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（9/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（10/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（11/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（12/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（13/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（14/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（15/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（16/17）

アンケート調査結果

B高校事後調査（17/17）

パーソルホールディングス株式会社
〒107-0062　東京都港区南青山1-15-5
E-mail：ryo.Tatsuta@persol.co.jp
URL：https://www.persol-group.co.jp/